

こどもが輝く
未来が輝く

子どもや若い世代が幸せに暮らすことは、家庭や地域に輝きを生み出すことにつながります。それはやがて安曇野の未来にもつながっていきます。今号では、そんな皆さんの思いと共に一人一人が輝ける安曇野を目指し策定したこども計画を紹介します。

問子ども家庭支援課 TEL71-2077

小さな喜びを重ねて感じる幸せ

娘は最近「自分でやってみたい!」と思う気持ちが強くなり、何でも一人でやりました。そんな時、家族でよく行く公園で、小さな子どもでも一人で乗れるブランコを見つけました。一人でブランコに乗り、思いつき遊びながら娘は満足。足を運ぶ度にうれしそうに遊んでいます。安曇野には、子どもの「やりたい!」を刺

激する自然や公園が暮らしのすぐ近くにあり、自由に遊べる児童館や子どものためのスペースが確保されている図書館は子どもたちのお気に入りの場所です。子どもと安心して過ごせる自宅以外の場所があると、家にこもりがちにならないですし、親もリフレッシュできます。息子は積極的に娘と遊ぶようになってくることができるようになりました。そんなこともありますが、そ

Interview 安曇野で感じる子育て

子育てをしていてうれしさを感じる瞬間や安曇野ならではの親子の時間を子育て世代の皆さんに聞きました。

成長を感じる瞬間がうれしい

できることが少しずつ増えていく娘を見て、成長の早さに驚きつつ、うれしさを実感しています。大人が疲れていても子どもは元気いっぱい。できる限り触れ合う時間が取れるように工夫しています。まだまだ風邪をひくことも多いので、医療費の負担を気にせず受診できるようになったのは大きな変化だと感じています。



奥村洋一 さん (42)
心陽 ちゃん(1)

Topic 子どもの医療費 窓口負担0円に

4月から18歳までの福祉医療費の窓口負担が無料に。医療機関での1レセプト500円の窓口負担が不要になりました。

家族で感じる自然と季節

この4月に移住してきました。自然豊かで北アルプスが近くに見える環境が気に入っています。庭に野菜の苗を植えたり、家の軒先に来るツバメを観察したりするうちに、子どもたちも身近な自然に興味を持つようになりました。家族で季節を感じられるのも、安曇野ならではの楽しみです。



保坂洋 さん(43)・多恵 さん(45)
雪 さん(7)・岳 くん(9)

Info かじかの里公園に
インクルーシブ遊具を設置

年齢や障がいの有無などにかかわらず、誰でも遊べるインクルーシブ遊具をかじかの里公園(穂高北穂高)に設置しました。インクルーシブ遊具の設置は、豊科南部総合公園に続き2カ所目。市では今後も誰もが一緒に遊べるやさしい遊具の設置に取り組んでいきます。



周囲の温かさに支えられて

息子はこども園に通っているのですが、夫が仕事に行っている日中は娘と2人で過ごしています。息子を産んだのはUターンする前でした。初めての子育てはわからないことばかり。近くに知り合いや頼れる人がいなかったもので、不安な日々が続きました。安曇野で穏やかにじつくりと子どもと向き合う時間が持てるようになったの

息

子はこども園に通っているのですが、夫が仕事に行っている日中は娘と2人で過ごしています。息子を産んだのはUターンする前でした。初めての子育てはわからないことばかり。近くに知り合いや頼れる人がいなかったもので、不安な日々が続きました。安曇野で穏やかにじつくりと子どもと向き合う時間が持てるようになったの

夫と共に5歳の息子と2歳の娘を育てながら家族4人で暮らしている布山さん。3年前に夫婦のふさと・安曇野へUターンしてから穏やかにじつくりと子どもと向き合える時間が増えたと話します。そんな布山さんに日々の暮らしで感じていることや子育てで大切にしていることを聞きました。



布山まりあ さん (32)
心遥 ちゃん (2)

は、周囲の人たちの助けと温かさがあるからこそ。近くに住む夫の両親は、困った時や少し時間がほしい時に子どもを安心して見てもらえる心強い存在です。夫は仕事と両立しながら、子どもをお風呂に入れたり一緒に遊んだりしてくれるので、夫婦で子育てができていると感じています。夫婦で大切にしていることは、毎日の出来事を話すこと。子育てに限らずどんな小さなことでも言葉に出して伝え合うことで、知らないうちにたまっていった心配事に気が付き、思いを共有できる大切な時間です。安曇野ならではのゆたかりとした雰囲気はその時間を作り出しているのかもしれない。時には子育てで行き詰まることもありますが、大変さも含めて子どもからさまざまな経験をさせてもらっていると思います。(ハ)